
2012年1月期 決算説明会

株式会社 東京ドーム

予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、 当社は責任を負いません。

この資料の著作権は(株)東京ドームに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



目次

【2012年1月期 決算 総括】			【営業状況】 東京ドームシティ事業		
業績ハイライト(連結)	5	東京ドーム	18
2012年1月期 決算 総括(対前年比較)	6	ラクーンア	19
【2012年1月期 決算 実績及び主要施設の営業状況】			アトラクションズ	20
連結対象会社	8	黄色いビル	21
2012年1月期 決算 実績	9	ミーツポート	22
営業外損益	10	飲食&物販	23
特別損益	11	東京ドームホテル	24
連結貸借対照表	12	流通事業 ショッピング	25
キャッシュ・フロー(連結)	13	不動産事業 松戸公産	26
当社グループの事業セグメント	14	熱海事業 熱海後楽園ホテル	27
セグメント別売上高	15	札幌事業 東京ドームホテル 札幌	28
セグメント別営業利益	16	競輪事業 松戸競輪場	29
			2013年1月期 連結通期業績予想と配当予想	30
			今期の見通し	31

2012年1月期 決算 総括

(株)東京ドーム 代表取締役社長 執行役員
久代 信次

業績ハイライト(連結)

(単位:百万円)

	12年1月期	11年1月期	増減	増減要因(前期比)
売上高	73,208	81,404	△8,196	【+要因】東京ドームにおけるイベントの好調 【-要因】東日本大震災に係るイベントの中止・延期及びホテルの稼働率低下、事故に係るアトラクションズの営業休止
営業利益	5,248	8,663	△3,414	【+要因】統制可能費の削減 【-要因】大幅な売上高の減少
経常利益	2,336	4,835	△2,499	【+要因】支払利息の減少、持分法投資損益の改善
税金等調整前 当期純利益	912	2,648	△1,736	【+要因】受取保険金の計上 【-要因】営業補償・災害損失の計上
当期純利益	362	△873	1,235	【+要因】関係会社清算に係る繰延税金資産の認識 【-要因】税制改正による繰延税金資産の取り崩し
減価償却費	7,744	8,136	△391	【+要因】代々木イースト取得 【-要因】リース事業の撤退(前期)
設備投資額	8,804	9,423	△618	【今期】代々木イースト 【前期】ラクーア土地買い戻し

2012年1月期 決算 総括(対前年比較)

1. アトラクションズの事故により安全面のリスクを見直す為、4ヶ月に亘り全面休業(6月1日より部分再開)、アトラクションズ及び周辺施設の収益悪化
2. 東日本大震災、福島第一原発事故に起因する電力不足の影響を受け、イベントの中止・延期特に東京ドームにおける野球関連イベントが減少
3. 上記に伴う東京ドームシティ内施設の営業休止・営業時間短縮等に消費自粛も加わり大幅減収
4. ホテル業においては震災の影響を受け、海外からのインバウンドの落ち込み等客室稼働率の低下及び宴会・婚礼需要の減少により大幅減収
5. 税制改正による繰延税金資産取り崩しの一方、東京ドームにおいて関係会社の清算に係る繰延税金資産を計上
税制改正による土地再評価に係る繰延税金負債を取り崩し、純資産の増加
6. 収益低下に伴う営業キャッシュ・フローは減少しているが、外部有利子負債は削減
7. 中期経営計画「起動」の1年目は、想定外の事故により利益目標未達
今後、営業環境好転による収益改善とアクションプランの実現により計画数値の達成を目指す

2012年1月期 決算 実績及び主要施設の営業状況

(株)東京ドーム 常務取締役 執行役員
野村 龍介

連結対象会社

	12年1月期	11年1月期
連結子会社	14社	14社
持分法適用会社	3社	3社

2012年1月期 決算実績

(単位:百万円)

	12年1月期	11年1月期	増減	増減要因(前期比)
売上高	73,208	81,404	△8,196	【+要因】東京ドームにおけるイベントの好調 【-要因】東日本大震災に係るイベントの中止・延期及びホテルの稼働率低下、事故に係るアトラクションズの営業休止
営業利益	5,248	8,663	△3,414	【+要因】統制可能費の削減 【-要因】大幅な売上高の減少
経常利益	2,336	4,835	△2,499	【+要因】支払利息の減少、持分法投資損益の改善
税金等調整前 当期純利益	912	2,648	△1,736	【+要因】受取保険金の計上 【-要因】営業補償・災害損失の計上
当期純利益	362	△873	1,235	【+要因】関係会社清算に係る繰延税金資産の認識 【-要因】税制改正による繰延税金資産の取り崩し
減価償却費	7,744	8,136	△391	【+要因】代々木イースト取得 【-要因】リース事業の撤退(前期)
設備投資額	8,804	9,423	△618	【今期】代々木イースト 【前期】ラクーア土地買い戻し

営業外損益

(単位:百万円)

	12年1月期	11年1月期	比較増減
営業外収益	670	698	△27
受取利息	70	69	0
受取配当金	446	430	16
為替差益	—	18	△18
持分法による投資利益	43	—	43
その他	110	179	△69
営業外費用	3,583	4,525	△942
支払利息	2,656	3,039	△383
持分法による投資損失	—	756	△756
社債発行費償却	449	441	7
為替差損	2	—	2
その他	475	287	187
営業外損益	△2,912	△3,827	915

特別損益

(単位:百万円)

	12年1月期	11年1月期	比較増減
特別利益	777	30	747
固定資産売却益	17	20	△2
投資有価証券売却益	—	0	△0
貸倒引当金戻入額	6	2	3
債権譲渡益	—	4	△4
受取保険金	742	—	742
その他	10	2	8
特別損失	2,201	2,217	△16
固定資産売却損	0	253	△252
固定資産除却損	331	995	△664
減損損失	135	223	△87
解体撤去費	287	497	△209
投資有価証券評価損	220	16	△203
事故に起因する営業補償等	447	—	447
災害による損失	601	—	601
その他	177	230	△53
特別損益	△1,423	△2,186	763

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産	金額	対前期末	負債純資産	金額	対前期末
流動資産	18,752	△3,185	流動負債	80,558	4,315
固定資産	277,553	△2,092	固定負債	164,862	△12,716
有形固定資産	248,223	234	負債合計	245,421	△8,400
無形固定資産	842	74	株主資本	2,762	372
投資その他の資産	28,487	△2,400	その他の包括利益 累計額	49,664	3,013
繰延資産	1,543	262	純資産合計	52,427	3,385
資産合計	297,848	△5,015	負債純資産合計	297,848	△5,015

キャッシュ・フロー(連結)

(単位:百万円)

	12年1月期	11年1月期	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,497	14,818	△6,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,466	△10,112	1,646
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,373	△4,519	1,146
現金及び現金同等物の増減額	△3,342	186	△3,528
現金及び現金同等物の期首残高	13,356	13,170	186
現金及び現金同等物の期末残高	10,014	13,356	△3,342

当社グループの事業セグメント

□ 東京ドームシティ事業

東京ドーム
ラクーア
黄色いビル

東京ドームシティアトラクションズ
ミーツポート
東京ドームホテル 他

□ 流通事業

ショッピングイン

□ 不動産事業

アドホック新宿、プチモールニツ木、代々木イースト 他

□ 熱海事業

熱海後樂園ホテル

□ 札幌事業

東京ドームホテル 札幌 (旧 札幌後樂園ホテル)

□ 競輪事業

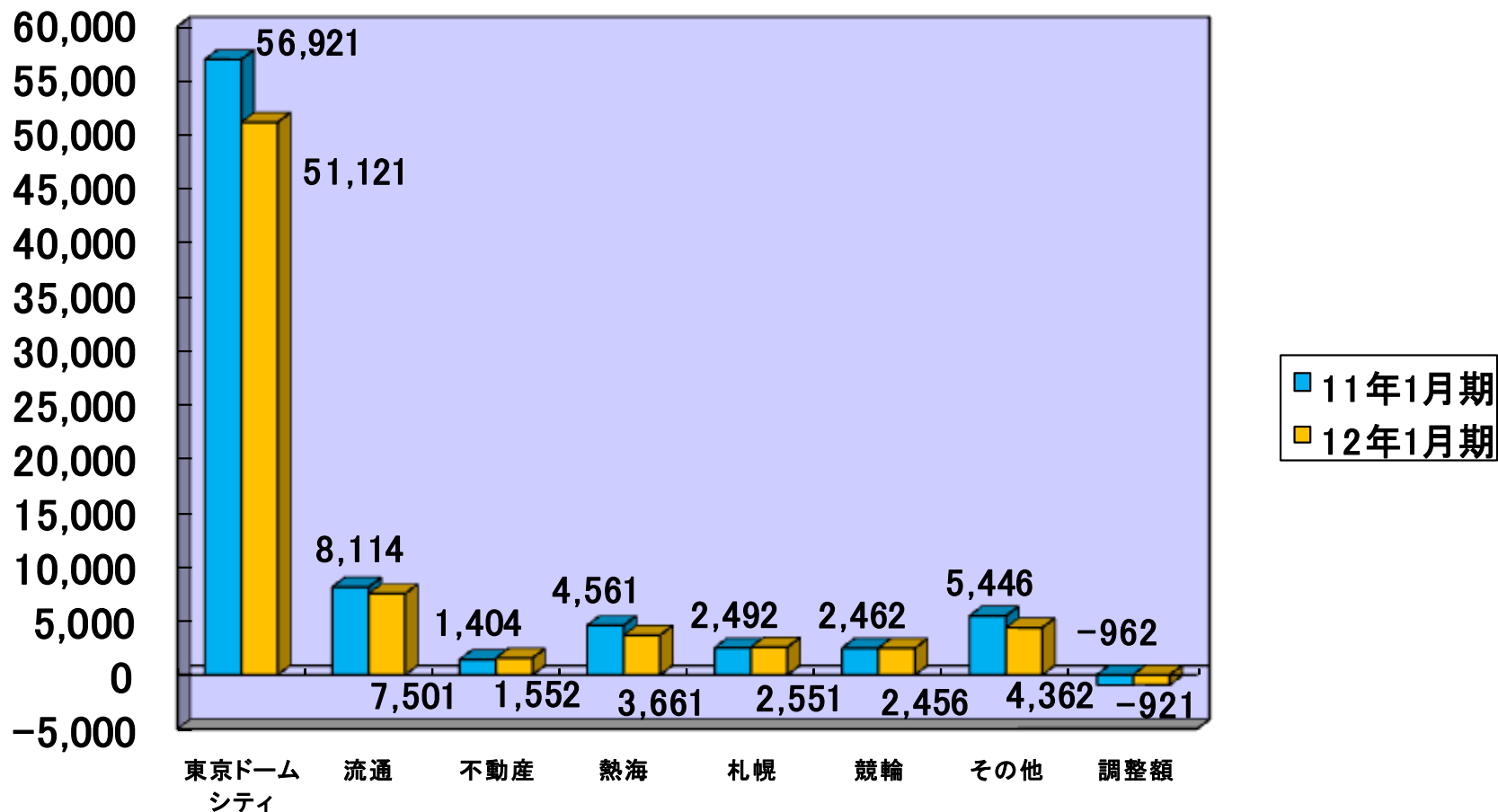
松戸競輪場

□ その他

立体駐車場などの設計施工・運営管理事業、
生命・損害・医療保険代理店事業、
有価証券の保有・管理事業、
有線テレビジョン放送事業等

セグメント別売上高

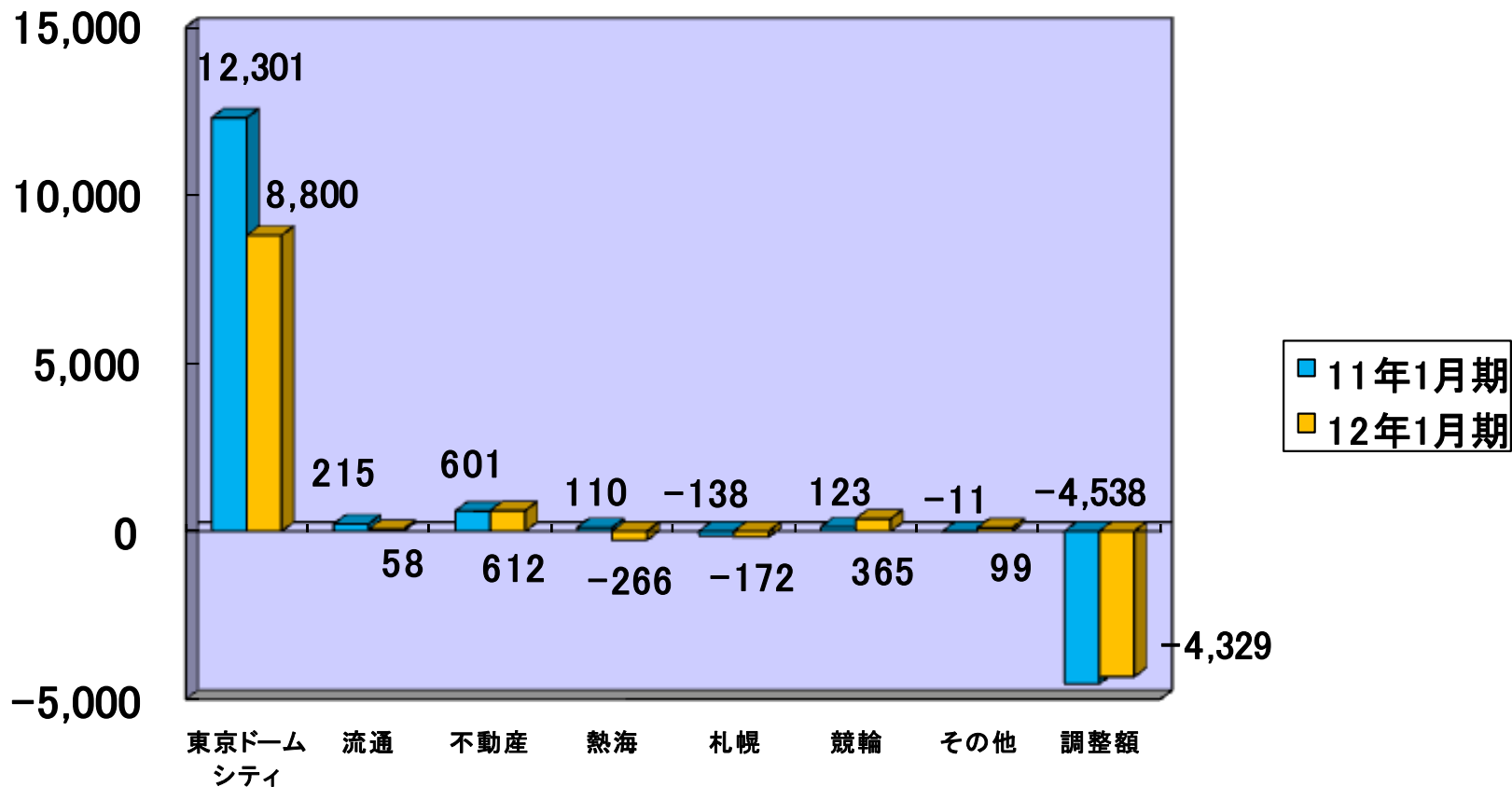
単位:百万円



(注)調整額にはセグメント間取引が含まれます。

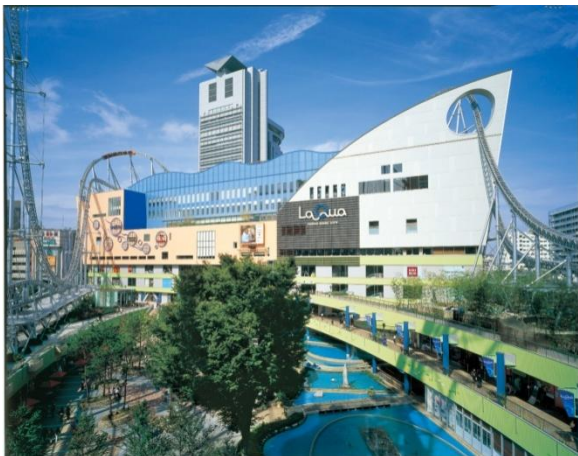
セグメント別営業利益

単位:百万円



(注)調整額にはセグメント間取引が含まれます。

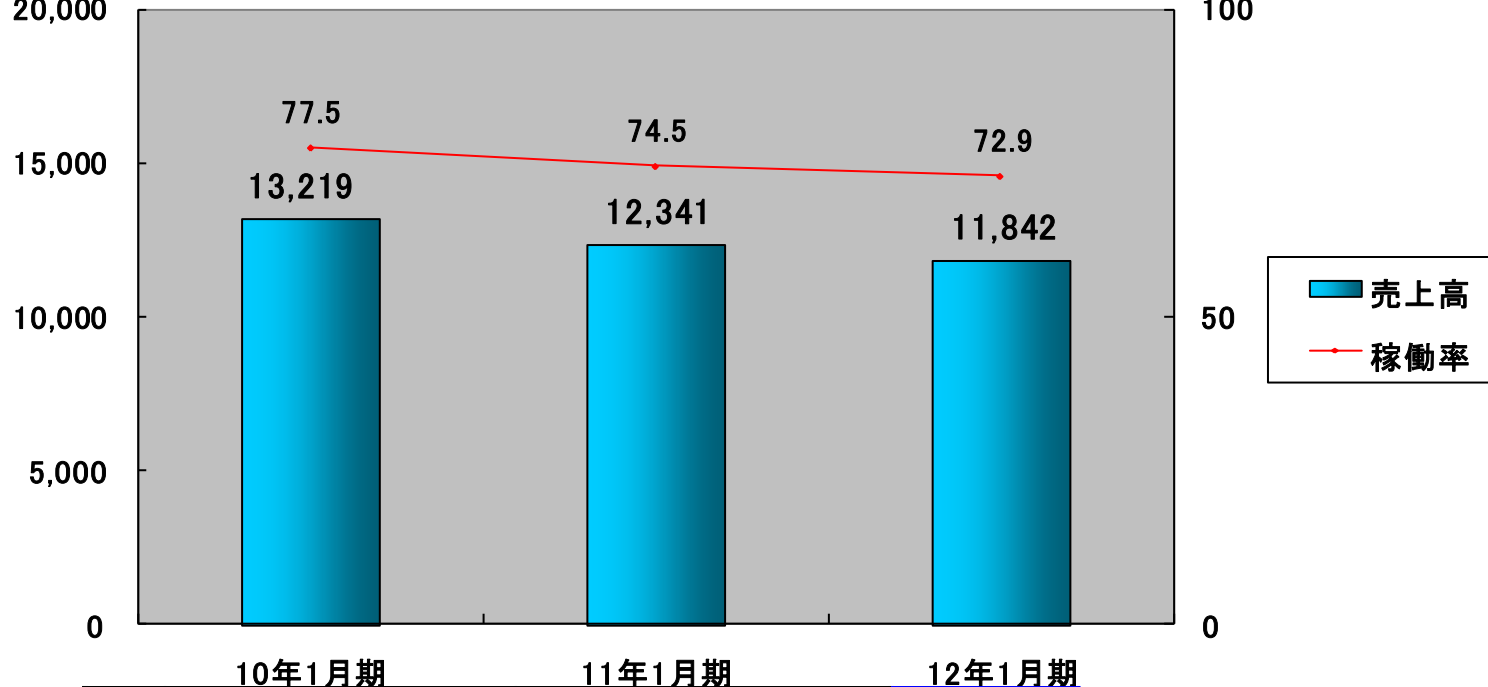
営業状況 東京ドームシティ事業



東京ドーム

単位:百万円
20,000

単位:%
100



ジャンル別稼働日数	10年1月期		11年1月期		12年1月期
		10/1	11/1	12/1	
プロ野球(巨人戦)		102(63)	87(64)	78(63)	
その他野球		32	31	13	
コンサートイベント ※		82(36)	91(40)	90(43)	
その他イベント ※		67(48)	63(45)	85(57)	
合計		283	272	266	

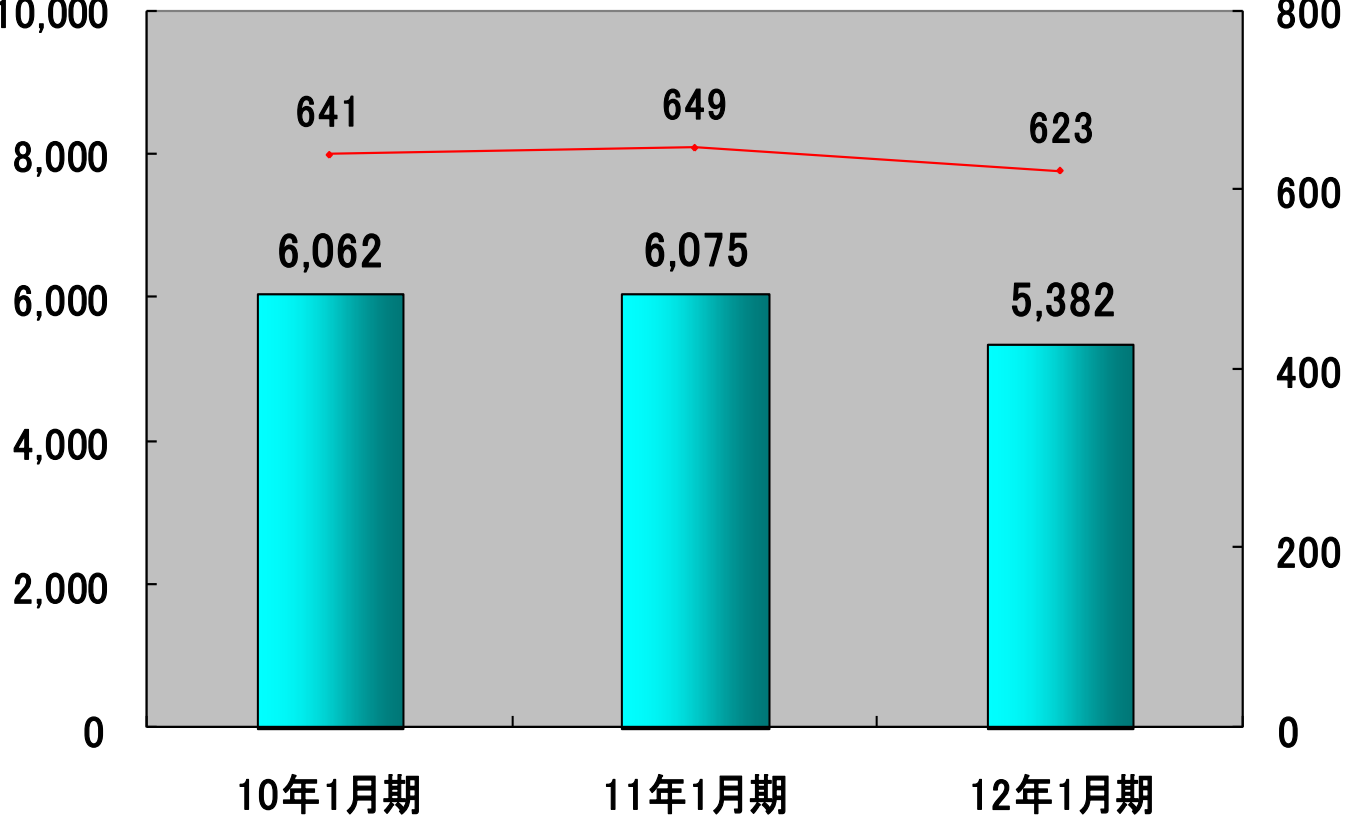
12/1 計画値
86(63)
30
78(44)
65(45)
259

※ 設営日、撤去日を含む。()内は、実稼働日数

ラクーア

単位:百万円
10,000

単位:千人
800

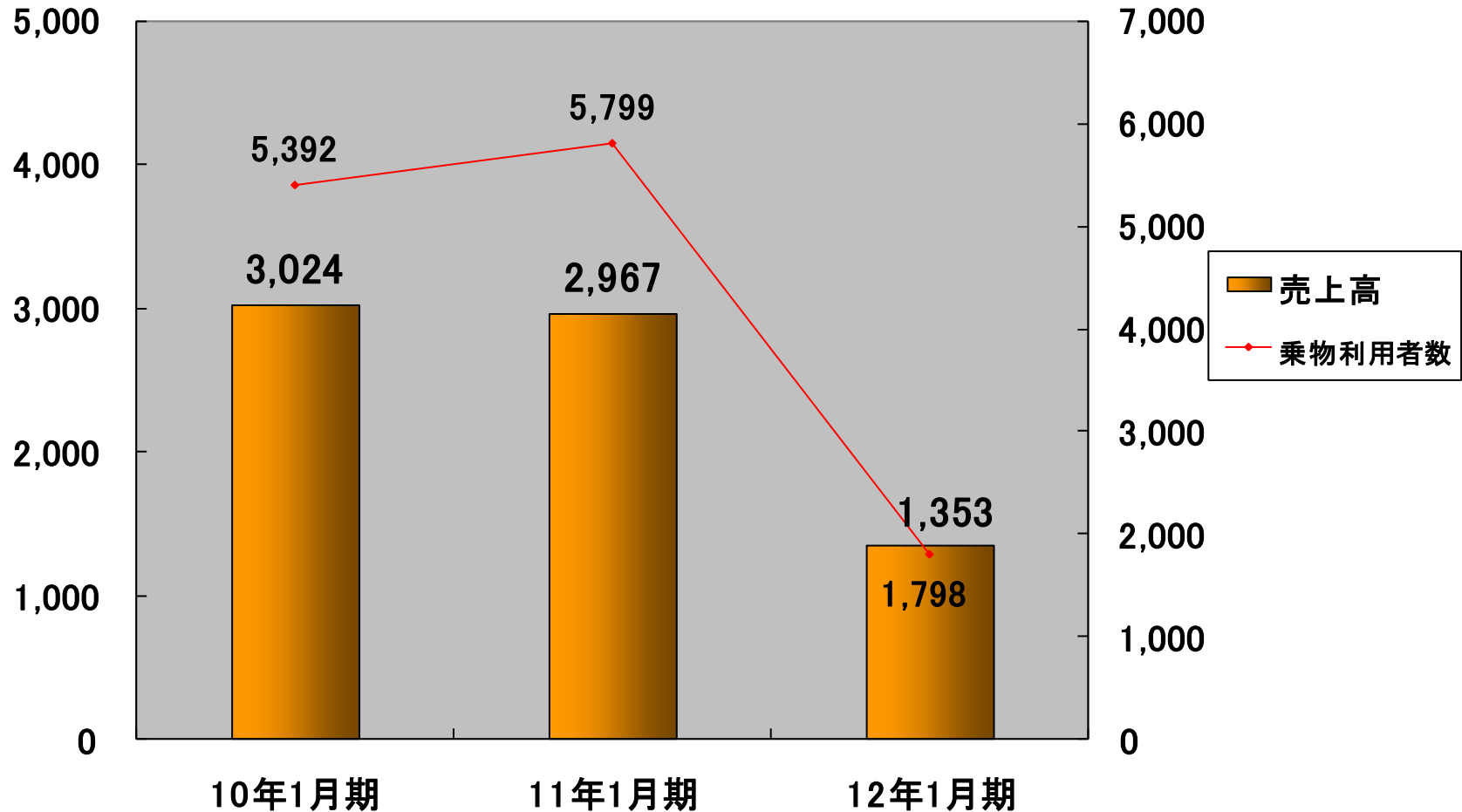


	10/1	11/1	12/1
来街者数(千人)	13,841	13,275	11,721
テナント売上(百万円)	12,274	12,046	11,232

アトラクションズ

単位:百万円

単位:千人



黄色いビル

単位:百万円

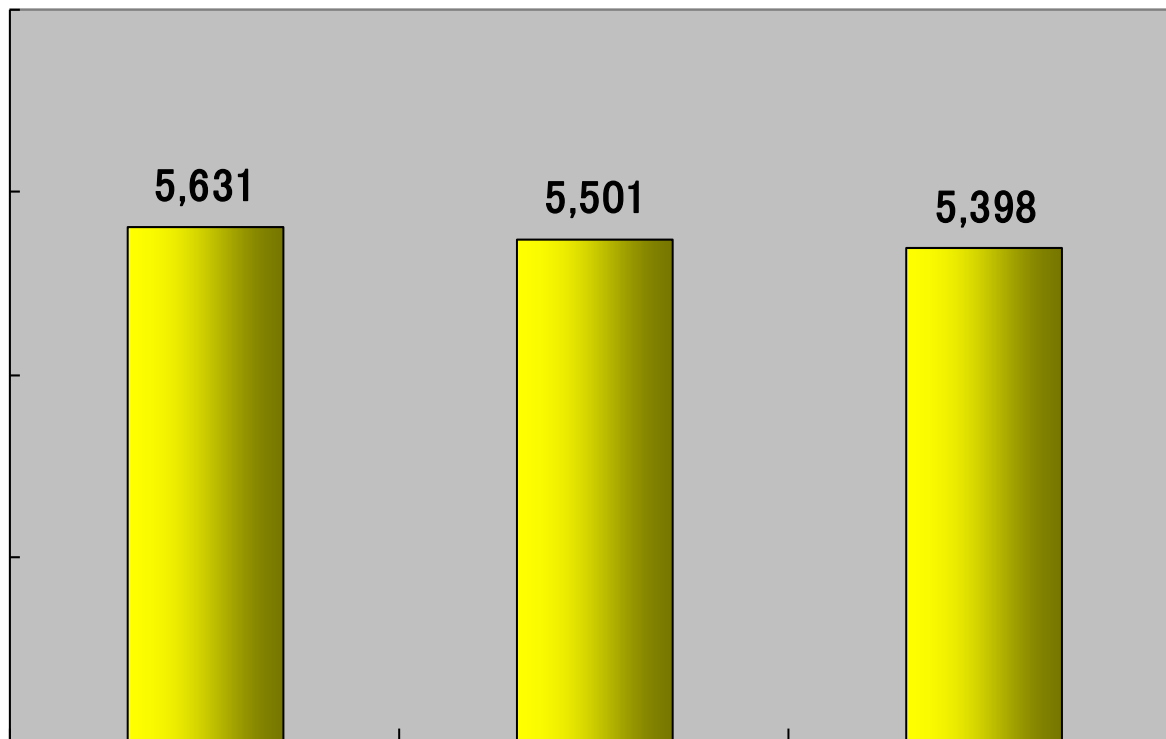
8,000

6,000

4,000

2,000

0



■ 売上高

10年1月期

11年1月期

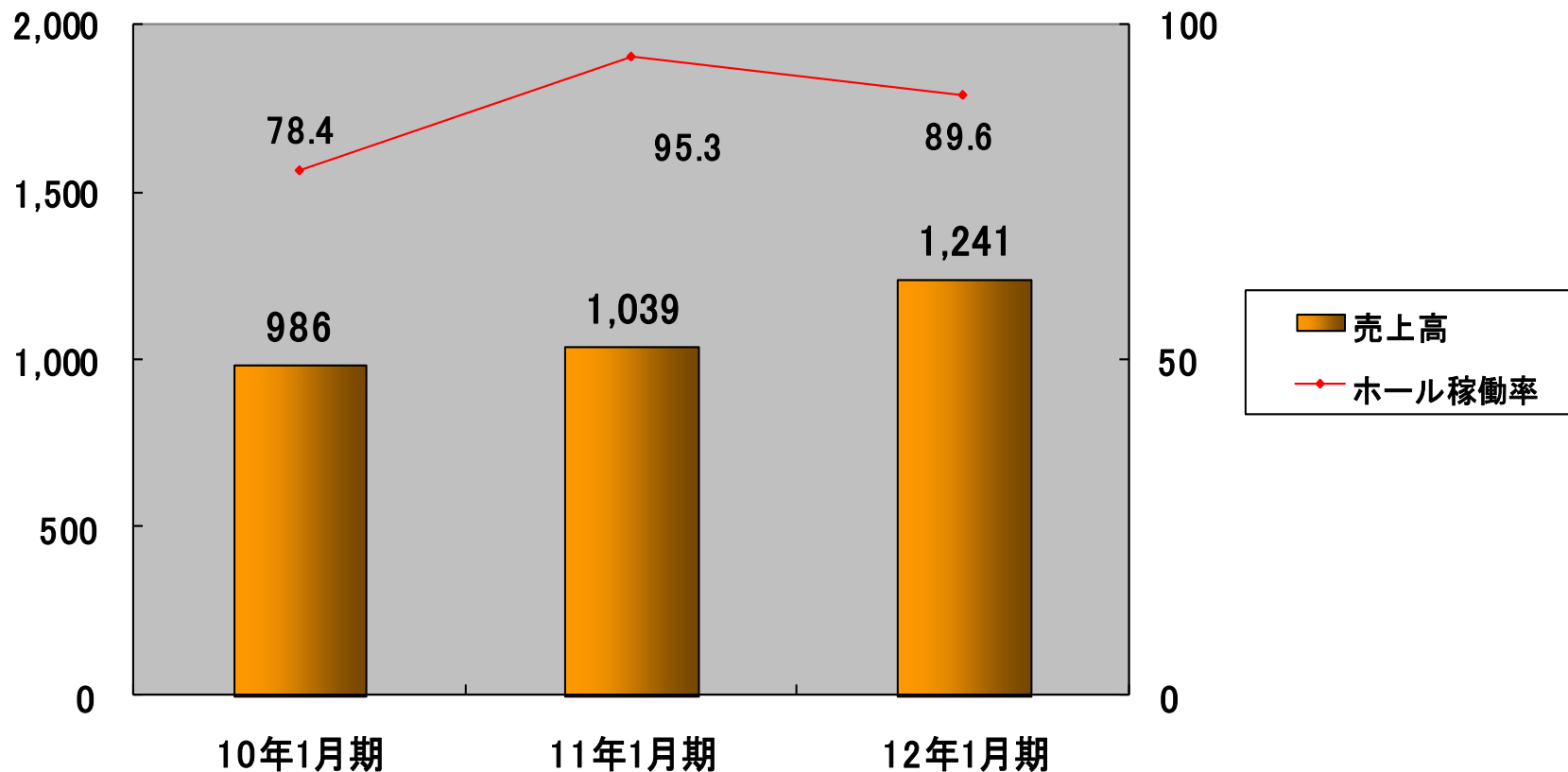
12年1月期

	10/1	11/1	12/1
ウインズ開催日数	106	106	95
オフト開催日数	265	269	244

ミーツポート

単位:百万円

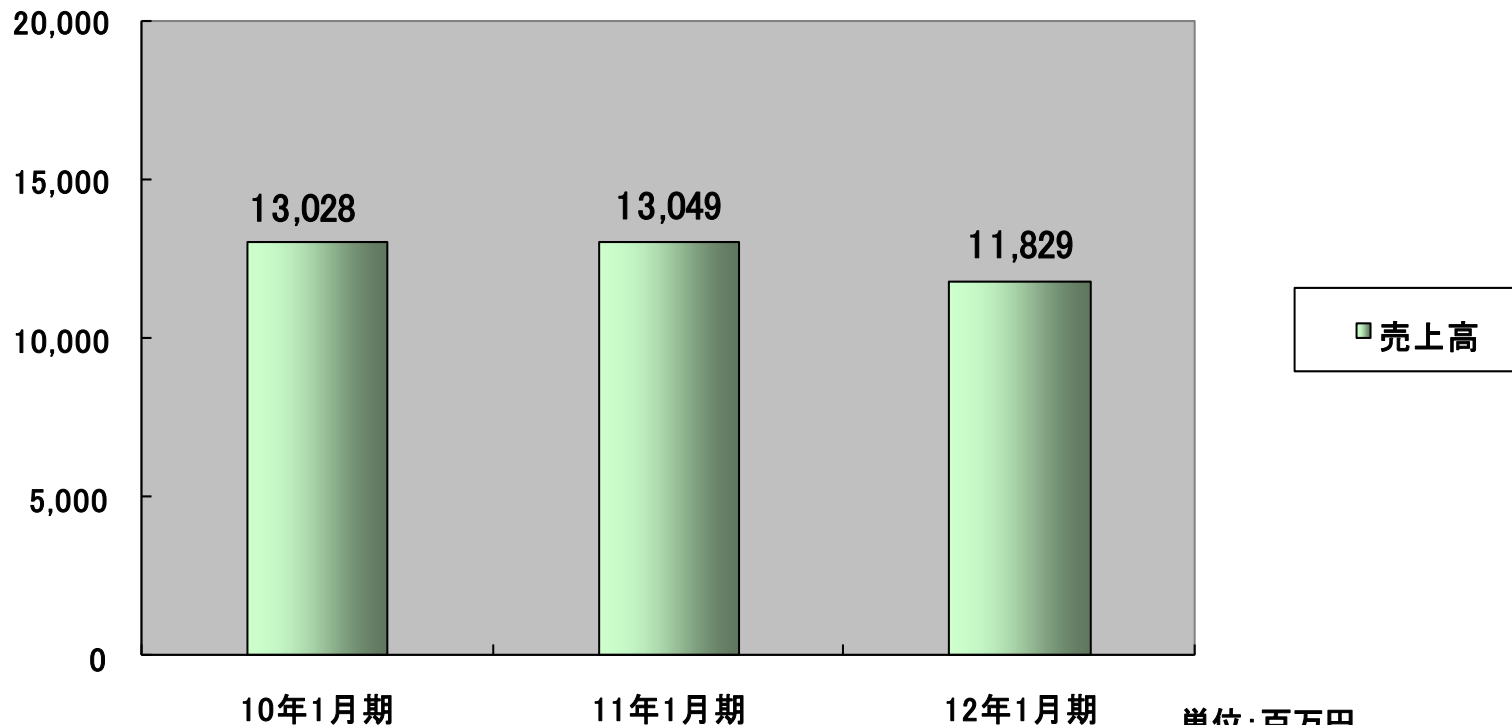
単位:%



	10/1	11/1	12/1
ホールイベント数(回)	286	348	327
ホール入場者数(千人)	466	494	431

飲食 & 物販

単位: 百万円



		10/1	11/1	12/1
売上高内訳	東京ドームエリア	10,390	10,603	10,172
	黄色いビルエリア	1,070	944	675
	アトラクションズエリア	1,100	1,056	602
	青いビルエリア	296	288	257
	その他	170	156	121

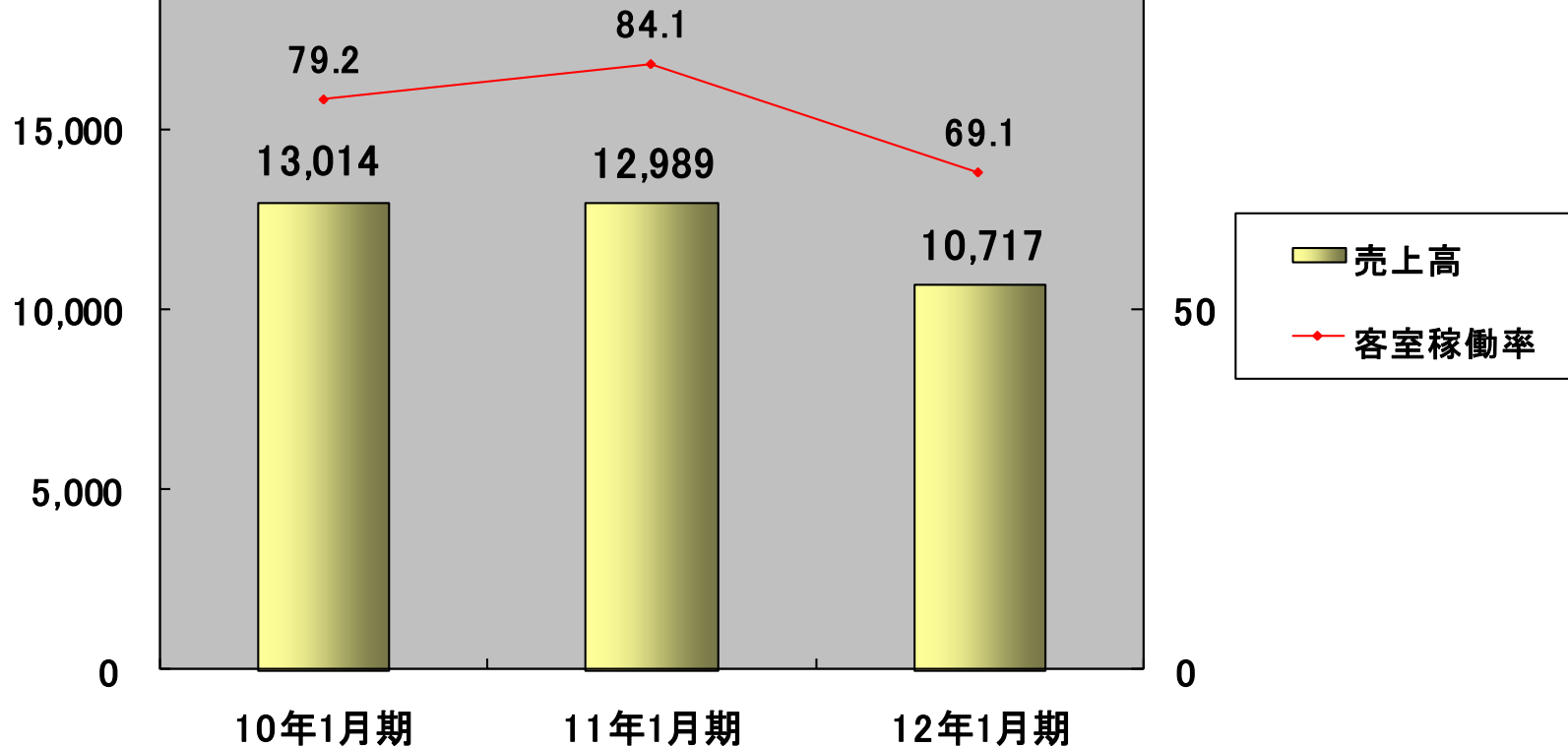
東京ドームホテル

単位:百万円

20,000

単位:%

100

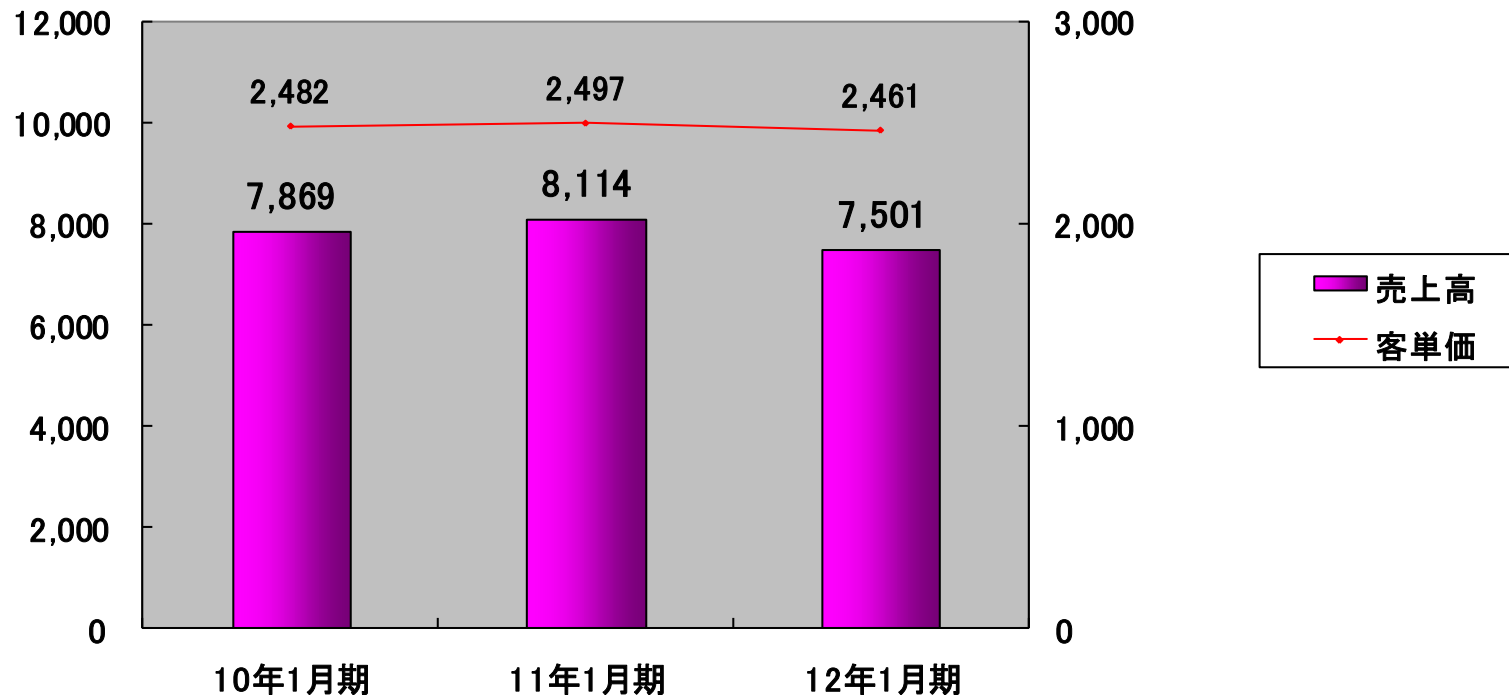


	10/1	11/1	12/1
宿泊者数(千人)	444	486	388
宴会件数(件)	2,097	2,199	1,959
婚礼件数(件)	448	411	264

流通事業 ショッピング

単位:百万円

単位:円



	10/1	11/1	12/1
月坪売上(千円)	393	394	368
店舗数	39	40	41

新規出店(2):梅田、北千住

退店(1):自由が丘

※今期は新規出店4(予定)、退店0(予定)

不動産事業 松戸公産

単位:百万円

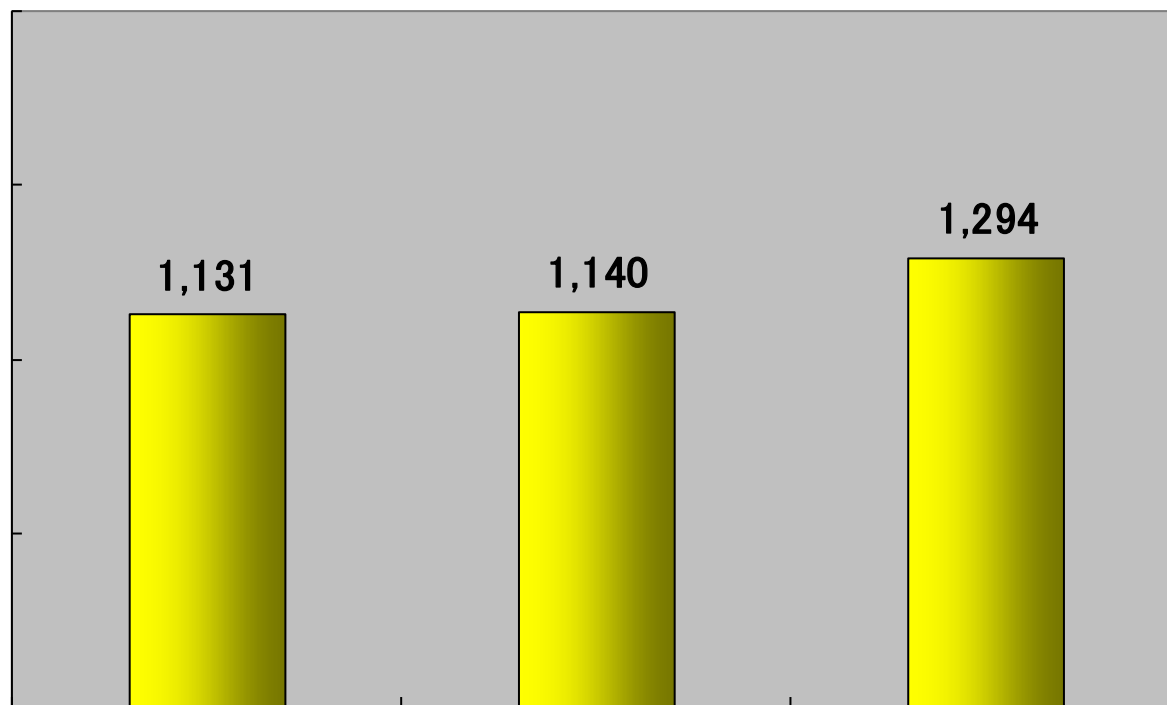
2,000

1,500

1,000

500

0



■ 売上高

10年1月期

11年1月期

12年1月期

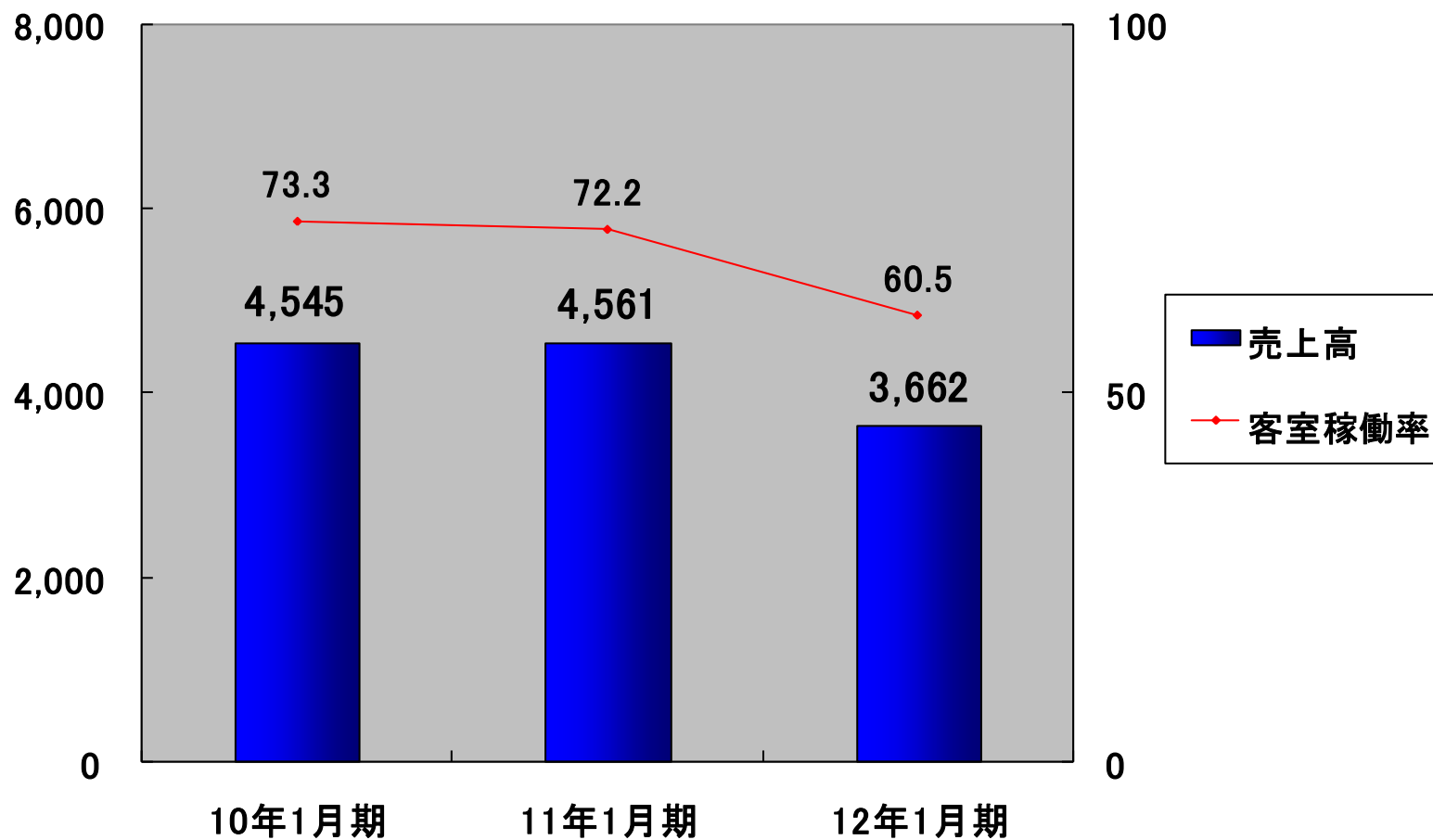
松戸公産の主な所有物件

- ・アドホック新宿(新宿区)
- ・プチモールニツ木(松戸市)
- ・代々木イースト(渋谷区)
- ・市ヶ谷ビル(新宿区)

熱海事業 熱海後樂園ホテル

単位:百万円

単位:%

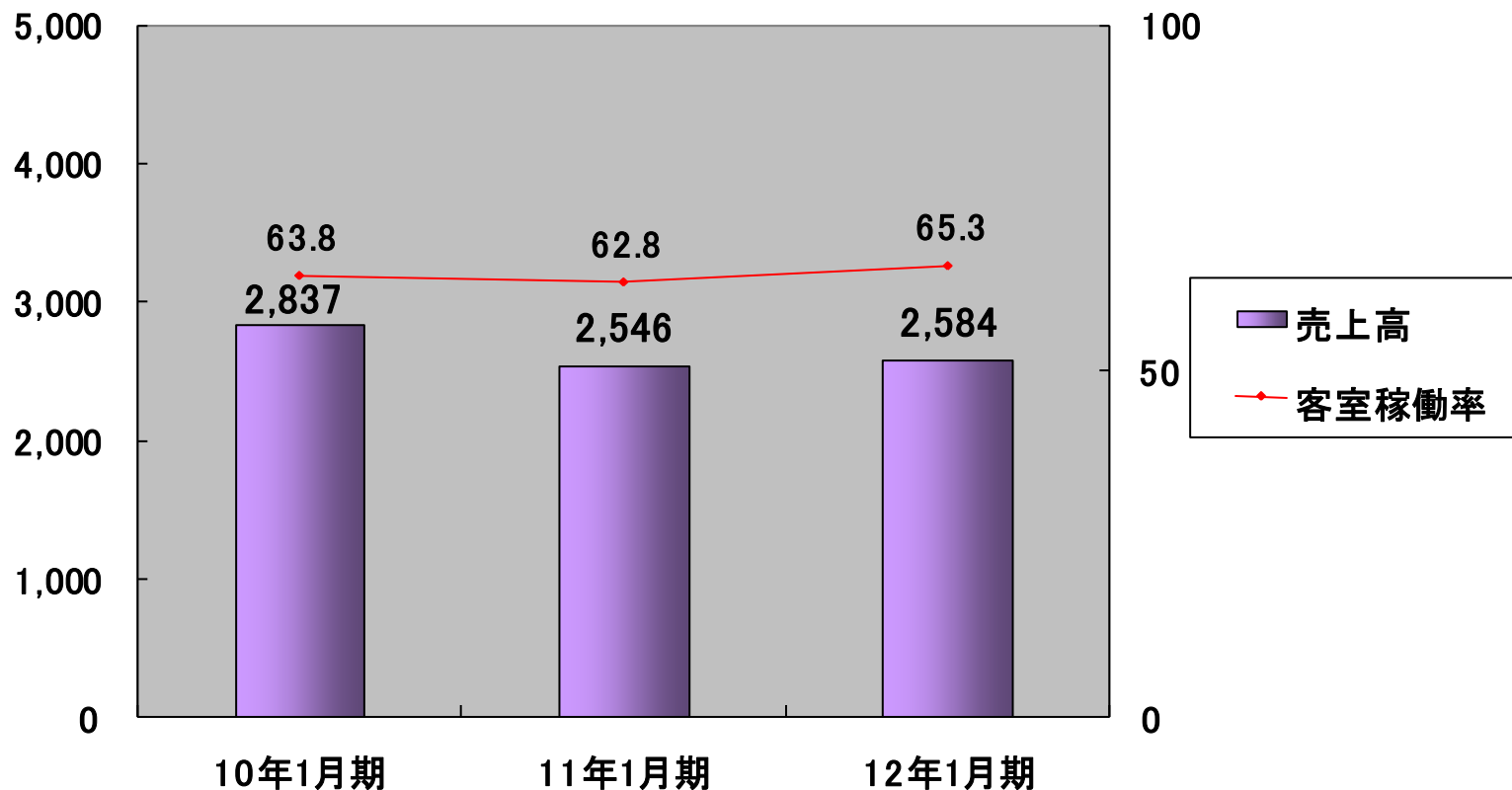


	10/1	11/1	12/1
宿泊者数(千人)	202	197	161

札幌事業 東京ドームホテル 札幌 (4/1 札幌後楽園ホテルから名称変更)

単位: 百万円

単位: %

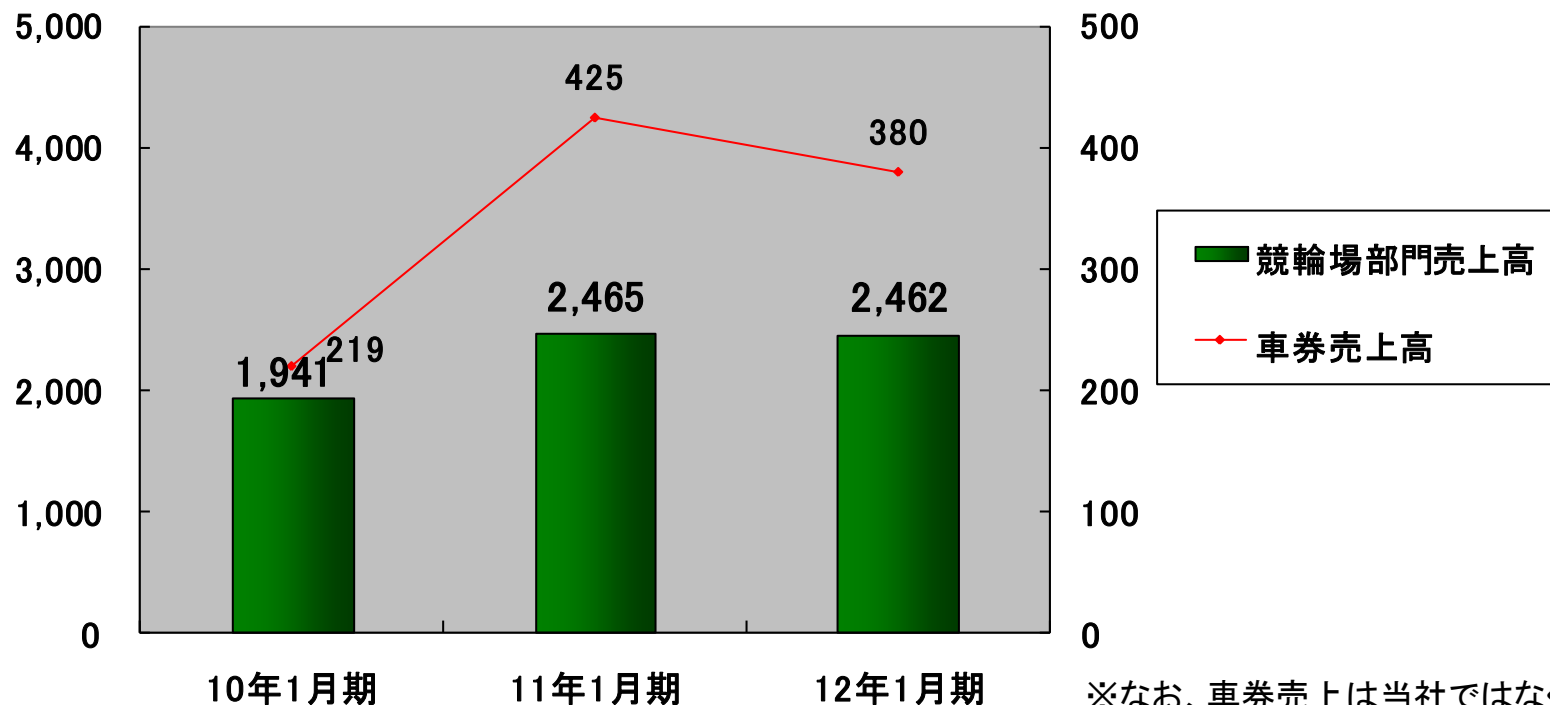


	10/1	11/1	12/1
宿泊者数(千人)	114	114	120
宴会件数(件)	2,550	2,606	2,713
婚礼件数(件)	212	160	196

競輪事業 松戸競輪場

単位：百万円

単位：億円



※なお、車券売上は当社ではなく施行者に帰属する営業指標です。

単位：百万円

		10/1	11/1	12/1
競輪場部門 売上内訳	賃貸収入	603	906	763
	運営受託収入	1,074	1,285	1,395
	その他収入	263	273	303

2013年1月期 連結通期業績予想と配当予想

(業績予想)

(単位:百万円)

	13年1月期 予想	12年1月期 実績	増減	増減要因(前期比)
売上高	78,200	73,208	4,991	【+要因】東日本大震災の影響が一段落した事に伴う営業環境の改善、東京ドームにおけるイベントの増加、アトラクションズ新機種導入と営業エリアの拡大
営業利益	8,600	5,248	3,351	【+要因】売上高の大幅な回復
経常利益	5,900	2,336	3,563	【+要因】有利子負債削減に伴う支払利息の減少
税金等調整前 当期純利益	5,300	912	4,387	【+要因】(前期)災害及び事故に係る損失計上
当期純利益	4,500	362	4,137	【-要因】(前期)関係会社清算に係る繰延税金資産の認識

(配当予想)

2008年1月期	2009年1月期	2010年1月期	2011年1月期	2012年1月期	2013年1月期
3円	5円	5円	無配	無配	5円

今期の見通し

1. 巨人戦や都市対抗野球は例年通りの開催へ、MLB開幕戦の開催、コンサートイベント増加も寄与し、東京ドームは稼働増へ。
2. 3月16日からアトラクションズに「バイキングゾーン」オープン、「パラシュートゾーン」通期稼働。
3. ホテル3社は、震災前の水準へ業績回復。
4. キャッシュ・フローの回復と投資の厳選により、外部有利子負債は中期経営計画を超える削減の見込み。